

試合番号 : 319	試合会場 : 宝来屋郡山総合体育館	観客数 : 900
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:17	試合時間 : 01:17
主審 : 高橋 宏明	副審 : 伊藤 薫	
<b>デンソーエアリービーズ</b> 通算 2勝 1敗 ポイント : 6	25 第1セット 15 25 第2セット 11 25 第3セット 21 第4セット 第5セット	<b>KUROBEアクアフェアリーズ</b> 通算 1勝 4敗 ポイント : 2
<b>監督コメント</b> 今週がホームゲームということで、ホームで連勝を飾るべく、いつも以上に熱を込めて練習を積んできました。攻めのバレーや、デンソーらしいテンポで攻めることが出来ました。明日は、サーブが良いチームなので、対応力を出して、上回れるようによい準備をします。本日はたくさんのご声援ありがとうございました。	3	<b>監督コメント</b> 連敗脱出をすべく臨んだゲームでした。しかし、第1セットのスタートから、レセプションが乱れ、自分たちのリズムが作れず、相手に思う様に攻撃をしかけられてしまいました。第3セットになり、少しリズムができたものの、デンソーの高さと巧さあるオフェンスに対応できず、敗戦となりました。課題山積ですが、修正し、次戦の準備をしたいと思います。今後ともご声援よろしくお願いします。
<b>要約レポート</b> ホームでの勝利を望むデンソーエアリービーズと、連敗を脱したKUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、デンソー・プラマーのブロックポイントでゲームがスタートする。加えてデンソー中元、横田のサービスエースで得点を重ね、リードを広げる。KUROBEはリリーフサーバー丸山の効果的なサーブでブレイクに成功し点差を縮めるが、一歩及ばずデンソーが先取した。第2セット、デンソーは奥村のサーブや横田のブロックなどでブレイクを重ね、さらにバックアタックを絡めた多彩な攻撃でKUROBEを突き放す。流れを変えたいKUROBEは途中交代のリーのスパイクで応戦するが、組織的なディフェンスからラリーを制したデンソーがセットを連取した。第3セット、後がないKUROBEは杉原、間橋の連続ブロックでリードを奪うと、さらに浮島のサービスエースなどで主導権を握る。流れを変えたいデンソーは、田原と東谷の2枚替えに加え、鍋谷を投入。対するKUROBEも、リーや間橋がスパイクを決め、接戦となる。終盤は田原のトスワークや東谷のスパイク、鍋谷の好プレーもありデンソーが優位にゲームを進め、ホームでの勝利を飾った。		

試合番号 : 320	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 728
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:59	試合時間 : 01:59
主審 : 明井 寿枝	副審 : 本間 明	
<b>ヴィクトリーナ姫路</b> 通算 1勝 2敗 ポイント : 3	19 第1セット 25 25 第2セット 19 19 第3セット 25 19 第4セット 25 第5セット	<b>久光スプリングス</b> 通算 3勝 2敗 ポイント : 9
<b>監督コメント</b> ホームゲームへの沢山のご来場、誠にありがとうございました。相手の強力なアタックに対して、ブロックとレシーブの関係はよくできていたと思うので、あとは拾ったボールをどうやって点数につなげるかということが今日出てきた課題です。明日もディフェンスが素晴らしいNECとの対戦なので、今年鍛えてきたオフェンス力をしっかり発揮すること、そしてそれを3セット取るまでやり続けることが必要になってきます。明日も皆さまの熱いご声援で選手の後押しをお願いします。	1	<b>監督コメント</b> 姫路のホームゲームということで、相手のリズムで展開させないよう、自分たちのやるべきことを共有し、セット序盤からそれを体現することができた。お互いに粘り強くプレーし、ラリーになる場面も多かったが、ラリーを取りきれたことが良かった。明日の一戦に向けてしっかり準備して戦い抜きたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。
<b>要約レポート</b> 今シーズン初のヴィクトリーナ姫路のホームゲームは、久光スプリングスを迎える対戦となった。第1セット、久光は井上(愛)、石井、姫路は松本が得点を重ね、打ち合いとなったが、後半に久光がじりじりと引き離し、セットを先取した。第2セット、姫路は松本のアタックで荒谷のブロード攻撃や貞包のバックアタックでリズムを作り、久光の追撃を許さずセットを取り返す。第3セット、久光は石井のサービスエースでスタートを切り、中川の速攻、石井の強弱をつけた攻撃でリードした。姫路はメンバーチェンジで入った孫田のライトからのアタックや長野の速攻で追いつけたが、終盤に久光がブロックを決め、セットカウントを2-1とした。第4セット、後のない姫路は松本のバックアタック、長野のブロックで攻め、見応えのある一進一退の攻防となった。終盤、久光・石井のサービスエースが決まると、姫路は流れを変えることができず、久光が勝利した。		

試合番号 : 321	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 450
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:24	試合時間 : 01:24
主審 : 山本 和良	副審 : 内藤 聡美	
<b>東レアローズ</b> 通算 4勝 0敗 ポイント : 12	25 第1セット 16 25 第2セット 22 25 第3セット 22 第4セット 第5セット	<b>NECレッドロケッツ</b> 通算 3勝 1敗 ポイント : 9
<b>監督コメント</b> 相手の力強いアタックや粘り強いディフェンスに苦しめられる場面が多かったですが、攻撃面をしっかりと機能させて得点を重ねることができました。サーブミスが多く出てブレイクで苦しんだところがありますので、次週に向けてしっかりと修正していきたいです。本日もたくさんのご声援をいただきありがとうございました。	3	<b>監督コメント</b> 今日は悔しい敗戦となってしまいました。オフェンス力の差だったと感じています。欲しい場面で1点をいかに取りきれるかということをもっとチーム全体で考え、明日の試合ではより良いバレーを見せることができるよう頑張っていきたいです。明日も応援ありがとうございます。明日もよろしくお願いします。
<b>要約レポート</b> 全勝同士の戦いとなった東レアローズとNECレッドロケッツの対戦。第1セット、両チームともサーブレシーブが機能し多彩な攻撃を繰り出すゲーム展開となった。東レは黒後の時間差攻撃、石川のバックアタックやクランのアタックが決まった。NECは山田の速攻、ブロードや古賀、ネリマンのアタックで応戦したが、東レがセットを先取した。第2セット、NECは序盤から曾我、古賀、島村の攻撃が冴え好スタートを切った。東レは黒後の時間差攻撃から徐々に差を詰めていき、終盤に井上の速攻や石川のアタックが決まり、東レがセットを連取した。第3セット、後のないNECは古賀、山内、山田が東レの攻撃をブロックするが、黒後がブロックを外すアタックを決め、クランもバックアタックを決める。最後は石川のアタックで東レが勝利し、全勝をキープした。		

試合番号 : 322	試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)	観客数 : 950
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:51	試合時間 : 01:46
主審 : 北村 友香	副審 : 種元 桂子	
<b>岡山シーガルズ</b> 通算 2勝 2敗 ポイント : 6	25 第1セット 17 14 第2セット 25 25 第3セット 16 25 第4セット 15 第5セット	<b>埼玉上尾メディックス</b> 通算 2勝 3敗 ポイント : 7
<b>監督コメント</b> 開幕週は大事な場面で焦りが出て、ちくはくシーンがありました。が、翌週のKUROBE戦からは本来やらなければいけないところも集中が、徐々にできてきたように思います。本日の試合は今シーズン初のホームゲームということもあり、スタートでやや緩みが見られましたが、ゲームが進むうちに上手く相手に対応できたことが勝利に繋がりました。明日は更に個々の選手力を結集したプレーを皆様に見ていただけるよう頑張ります。本日はたくさんのご声援ありがとうございました。明日も熱い応援よろしくお願いします。	3	<b>監督コメント</b> 今シーズン初のファンの前での公式戦。素晴らしいホームゲームの雰囲気の中で迎えられたことを嬉しく思います。タフな試合を想定して練習してきましたが、相手の巧みな攻撃に終始対応できず、ラリーを制することができなかったことが課題となりました。また、今シーズン取り組んでいるサーブレシーブからのアタックもまだまだ精度が低く、チームとしてやるべきことが明確になった試合となりました。明日の一戦に向けて切り替えて勝利を目指します。引き続き応援よろしくお願いします。
<b>要約レポート</b> 今シーズン最初のホームゲームで勢いに乗り込みたい岡山シーガルズと埼玉上尾メディックスの一戦。第1セット、両チーム互角の展開で中盤まで試合が進むが、岡山が吉岡の得点などで徐々に抜ける。埼玉上尾もジョセフを中心に攻撃を仕掛けるが、岡山は金田のアタックや及川のブロックなどで得点を重ね、岡山がセットを先取した。第2セット、埼玉上尾は序盤からジョセフにボールを集めリードを奪う。岡山はメンバーチェンジで流れを変えようとするが、埼玉上尾が吉野やサンティアゴの得点で岡山を更に引き離し、セットを奪い返した。第3セット、岡山が金田の得点などで序盤からリードを奪う。埼玉上尾も内瀬戸や吉野の攻撃で反撃するが、岡山は渡邊のアタックや及川のブロックで勢いに乗り、このセットを奪った。第4セット、勢いに乗った岡山が金田や吉岡の得点で序盤から流れを掴む。持ち前の繋ぎからの多彩な攻撃でリードを広げ、このセットも奪い、岡山がホームゲーム初戦を勝利で飾った。		

試合番号 : 323		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 800						
開始時間 : 15:40		終了時間 : 17:15		試合時間 : 01:35		主審 : 千代延 靖夫						
						副審 : 國頭 亮太						
JTマーヴェラス		通算	3勝 ポイント:	1敗 9	25	第1セット	18					
監督コメント	先週の課題を修正し、日立との試合に向けて準備してきました。私達のオフェンス力が相手を上回ること、自分たちのバレーボールが展開でき、勝利につながりました。メンバーチェンジが入った選手の活躍で、チームの集中力を保ち、劣勢時を乗り切ることができました。チーム全員で戦い、応援して頂いているファンの方々からの声援を力に変えて、明日の試合も頑張ります。本日はありがとうございました。	3				日立リヴァーレ	通算	2勝 ポイント:	2敗 4			
										27	第2セット	25
										25	第3セット	21
											第4セット	
											第5セット	
監督コメント		本日もご声援ありがとうございました。まずは、ストレートでの敗戦となったことを不甲斐なく思います。ドルーズ選手を軸とした攻撃ではなかったことで、チャンスは大いにありましたが、それでもあと少しを取りきれない、勝ちきれないといった弱さが出てしまいました。自分たちのやるべきことをこなし、いつも通りのパフォーマンスで戦わなければいけません。昨年のような悔しさを繰り返すことはしたくないので、明日の試合に備えて、切り替えていきたいと思います。		0		監督コメント						
要約レポート		ともに2勝1敗で迎えたJTマーヴェラスと日立リヴァーレの対戦。第1セット、JTは林のスパイクや田中の緩急付けた攻撃で、日立は入澤の速攻やオクム大庭のパワフルな攻撃などで、序盤から互いに譲らない攻防が続く。両チーム互角の展開で中盤まで進むが、JTは柳井のサーブや林のバックアタックが冴え、徐々に引き離す。終盤、日立は代わって入った上坂の攻撃で流れを引き戻そうとするが、JTは流れを渡さず、最後は橋井のサービスエースでセットを先取る。第2セット、両チームとも粘り強いレシーブからの攻撃で一歩も譲らない。中盤、日立は上坂のアタックが決まり逆転する。JTは田中のアタックやブロックなどで連続得点を決め、再度逆転すると、柳井のサービスエースが決まり、セットを連取する。第3セットも互いに一歩も譲らず一進一退の攻防を繰り返したが、JTは小川や芥川の速攻を織り交ぜた攻撃で徐々に差を広げる。日立は代わって入った小野寺の攻撃で差を詰めるが、JTは林の鋭いスパイクや田中の緩急織り交ぜた攻撃で引き離す。日立は窪田のブロックやタップのスパイクで応戦するも、最後はJT林、橋井のスパイクが決まり、粘る日立を振り切った。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :				
						副審 :				
		通算	-勝 ポイント:	-敗 -	第1セット					
監督コメント										
								第2セット		
								第3セット		
								第4セット		
								第5セット		
監督コメント						監督コメント				
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :				
						副審 :				
		通算	-勝 ポイント:	-敗 -	第1セット					
監督コメント										
								第2セット		
								第3セット		
								第4セット		
								第5セット		
監督コメント						監督コメント				
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :				
						副審 :				
		通算	-勝 ポイント:	-敗 -	第1セット					
監督コメント										
								第2セット		
								第3セット		
								第4セット		
								第5セット		
監督コメント						監督コメント				
要約レポート										